



雑感

昨日、学校帰りに最寄り駅で降りたら、少し先のドアから●●が降りてきた。同じ電車に乗っていたらいい。そう、実は彼女とはご近所さんなのである。彼女は駅の南側に住んでいて、私は北側。そのことは知っていたし、彼女が使っているスーパーに私もカツ丼弁当を買いに行ったりしているのだが、実際に彼女の姿を地元で見かけたのは初めてだったので、声をかけようと思ったのだが、彼女は歩くのが速く、サッサと改札を抜けて人混みの中に消えて行ってしまった。でも、改札のすぐ外側の出店で売っていたお饅頭に、どうも熱い視線を注いでいるらしいのは、後ろ姿からも見てとれたが…(笑)。

私の最寄り駅のお隣には、●●が住んでいる。で、その駅には私の大好きな唐揚げ屋さんがある。たまに主人の帰りが急に遅くなることになって、夕食は各自で済ませてほしいといったメールがくると、その店に「ムネ唐(鶏胸肉の唐揚げ。私はモモ唐よりもパサパサのムネ唐が好きなのである…)」を買いに行くことがあるのだが、そんな時、買い物をしている●●先生を見かけることがあったりする。ちなみに、声はかけません(笑)。

*

昨日の星陵会館での発声練習？はなかなか楽しかった。以前のこの通信で紹介した学年担任団の会議の時に、「総合」のことについて連絡することになっていたN中先生が、ちょっと時間があまりそうだが、せっかく星陵会館に集まって学年集会もできる体制だから、何か他に連絡することはありませんかと言い出して、それに反応した●●先生のアイデア、というよりも、その時は単なる冗談

半分の思いつきだったわけだが(笑)、それが本当に現実化したわけである。

そう考えると、最後にK柵先生もおっしゃっていたが、そういうアイデアを現実のものにできる君たちの力、まあ、今回は●●さまの力だったわけだが、それはやはりなかなかのモノだと思うし、そういう力が、君たちの豊かな将来を結びついていくのではないかと感じられて、あの練習風景を楽しく見ていたのである(25Rとしては、あの子の学級タイムでの●●くんの言葉によく表現されていたように、やる気に火をつけられた感もあるわけだが…笑)。

同時に、ああいう場で、みんなの中の誰かが中心になりながら、「学年全体が一つになって何かを目指す」みたいなことは、本当に気持ちいいことだなあ…とも感じたのだが、君たちはどうだっただろう。

もちろん、そういう「一致団結」的なイデオロギーは嫌いだという人がいても一向に構わない。しかし、学校というのは基本的にそういう空間だし、特に、日比谷のような行事が盛んな学校は、そういう雰囲気の色濃く漂っている。で、私はそういうことは、いい意味でも悪い意味でも、やはり高校時代にしか味わえないものなのだろうと思うし、だからこそ大切にすべきものなのではないかと考えるのである。

最後に進路部的なことを書く(笑)、ぜひ勉強の方も、学年全体が一致団結して向上する雰囲気をつくってほしいものである。「受験は団体戦」と、進路通信にN村先生も書いていらしたではないか。